

## 委員意見対応一覧

## 第76回計画推進評価部会における意見と県の対応

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
1	牛山委員	横浜市や川崎市あたりが出生率も比較的高く若い人も多いが、県西地域の自治体や、三浦半島も人口減少は全国1番か2番かというぐらい減ってきている。 この県西地域や三浦半島への支援、政策的提案が非常に重要。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり
2	牛山委員	長寿化社会をむかえる中、政策的にも、今まで例えば75歳、80歳までが寿命ということで、取ってきた行政体制を、さらに85歳90歳と伸ばしていったときに、一体どういう体制がとれるのかを考える必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 1 (5) 長寿社会の到来
3	牛山委員	都市的な環境を持っている、政令指定都市をはじめとする大きな都市と、西部地域や三浦半島南端といったような地域の両者を繋ぐような政策も考える必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり
4	関委員	神奈川県で難しいのは、横浜市との関係で、やはり神奈川県として何を考えていくべきかということも少し意識しながら議論する必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3 (2) 国・県・市町村の関係について ②県と指定都市との関係
5	関委員	格差社会の問題をどうするのか、もう少し考えていく必要がある。グローバル化し、いろんな多様な方がいていいということだが、世界全体を見ると、多様化した社会がヨーロッパでもアメリカでも、それに対する反発がすごく強まっている。日本はそこに向かっていくのか。それとも違う解決を考え出せるのか。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 2 (1) グローバル化の進展
6	関委員	貧富の差の話として、薬の話でいくと、これらからどんどん技術が発展するとすごい(高額な)薬が出てきて、お金のいる人だけが享受できていいのか、それともみんなに享受するのかという問題がある。そういった問題は技術革新とともにより出てくる可能性はあり、それをどう考えるのか。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 5 (1) 格差の拡大と固定化の懸念
7	関委員	短距離走型の人生だと、65歳になったら皆息切れしてしまう。長距離型の人生、若い頃から90歳、80歳まで働くと考えていくと、それはワークライフバランスのとれた働き方。そういった働き方ができれば、女性とか障がい者にやさしい、もっとやさしい社会になる。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 1 (5) 長寿社会の到来
8	橋本委員	公共交通機関については利用者数が少なくなってきたことによって採算が取れなくなったという現状がある中で、藤沢市(ロボット特区)はロボットタクシーの実証実験を行っている。ロボット化やIT化など、技術の進歩、新しい技術が益々役に立つ時代になっていく。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 3 (1) AI・IoT・ロボットなどの技術革新
9	橋本委員	これから林業をやりたいという方々がいるが、森林の作業だけでは生活ができない。逆に、やって欲しいけど、そんなにお金を支払うことができない状態になっている、という現状もある。そういうところに対する支援策を何かできないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (3) 産業・労働 ④地域資源や地域の特性を生かした産業の振興や地域活性化
10	村井委員	神奈川県として、医療や介護に向けて、ロボット市場とシナジーを作っていくとよい。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (3) 産業・労働 ①成長産業の創出・育成
11	木曾委員	高齢の方々があらゆる形で社会参加をする、いきいきと生きるということを実現するためには公共交通機関を減らしてはいけない。赤字であっても人々の移動を保障するような社会的な施策が重要。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ⑥新たな交通インフラが与える影響

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
12	木曾委員	環境を考えたときに、もう少し自転車の活用を社会的に推進するという意識があってもいい。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ①持続可能な県土の形成
13	小池委員	多様性を若い世代に伝えていく可能性というものを高齢者の方達は持っている。障がいを持っていても、病気であっても幸福に生きていることの価値というものを社会に広げていくという観点から、高齢社会を見ていくと、視野が広がっていく。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (5) 教育・子育て ③地域全体で支える人づくり (6) 県民生活 ③高齢者の社会参加活動の推進
14	小池委員	これからの気候の温暖化に伴って発生しうる熱帯感染症についての予防教育というようなことも、今後、必要	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (2) 安全・安心 ⑤感染症や外来生物に対する取組み
15	朱委員	コンビニやファーストフードなど、サービス分野で外国人が多くなっている。外国人が本当に日常の普通の姿になった。このような社会がもっともっと自然になって欲しい。これからは、外国人、日本人と区別するのではなく、一人間として、見て行くようなことをみんなが普通に思えるような社会になっていかなければならない。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (6) 県民生活 ④多文化共生の推進
16	朱委員	外国人との文化的な面でのいろんなギャップも含めて、これが当たり前前の状態だという風に思えるようにならないと、日本の国際化が進んだことにはならない。排除するのではなくて、「こういうものなんだな」という風な形で理解する努力を一般の日本の方がもっとすると、そういった方たちとの理解が深まる。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (6) 県民生活 ④多文化共生の推進
17	杉田委員	横浜市などの政令市と県との関係をどう考えていくのか。神奈川県は政令市が多いので、役割分担を考える必要がある。また、政令市以外の自治体と県との関係など、どの単位でどのような政策を実施することが合理的なのかということについての議論が必要。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3 (2) 国・県・市町村の関係について ①県と基礎自治体との関係 ②県と指定都市との関係
18	杉田委員	行政が中心となって、サービス等を提供してきたことについて、今後どのようにしていくのか。いわゆる、市民社会セクター、行政セクター、市場的なものと3つあり、この3つの関係が重要。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3 (1) 特に留意すべき事項について ②多様な担い手との連携
19	伊達委員	高齢者がどういった形で社会的価値還元ができるのかという社会システムをいかに構築していくのかを考える必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 1 (5) 長寿社会の到来 第2章 2 (6) 県民生活 ③高齢者の社会参加活動の推進
20	伊達委員	それまで社会に貢献していた期間と、社会を引退したあとの期間が40年・40年でほぼ一緒になるという状況の中で、これまでの60歳定年という前提の中でつくられてきた社会システムの仕組み自体を少し考え直す必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 1 (5) 長寿社会の到来
21	伊達委員	自分が年をとったときにでも新しいことにチャレンジしていけるような社会システムを構築していく必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 1 (5) 長寿社会の到来
22	伊達委員	5年後、10年後、20年後にどのようなテクノロジーが社会の中に導入されるのか、それによって今まで限界とされていたことが、どういった形で限界ではなくなるのかを考える必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 3 (1) AI・IoT・ロボットなどの技術革新
23	伊達委員	神奈川でつくった知財を(それを必要とする海外で)運用し外貨を稼ぎ、県民(行政サービス)に還元するなど、新しい発想の中でのキャッシュの流れを考えていく必要がある。	引き続き検討していきます	—

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
24	原委員	相模川より西が郊外ではなくて、地方化している。地方になってくると本当は地場産業がないと苦しい。一旦ベッドタウン化してしまったときに、地場産業若しくは、小売店などは潰れてしまった。もう一度、地域産業のようなものを、地域資源を生かしながらその地域を育てていくということが必要。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (3) 産業・労働 ④地域資源や地域の特性を生かした産業の振興や地域活性化 (7) 県土・まちづくり ③自然・歴史・文化と調和した県土づくり
25	原委員	二宮町も空き家が4割強あり、現状で廃墟寸前の状態になっている。一方で、部屋数が余っているにもかかわらず、着工棟数を増やそうとしている。ドイツでは地域の中の雇用需要を図って、その中に適正な住宅数を計算して、それ以上の新規着工はさせないというような着工制限のようなことをしており、日本でもそういう部分最適から全体最適へと、どこかで切り替えないと、その歪みは修正できない。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり
26	原委員	40代、50代くらいで地域コミュニティと関わりを持つ準備をする期間を早めに持ちながら、コミュニティが形成されることでのまちの評価というのがあっても良い。今後は、ライフ クオリティ オブ コミュニティがキーワード。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (6) 県民生活 ③高齢者の社会参加活動の推進
27	原嶋委員	将来像を考える時に、県土全体を均衡に発展させるつもりなのか、全ての地域に万遍なく人が住む必要が本当にあるのか。県土均等の発展なのか、ある種の選択と集中をしていくのか、ひとつ、意見を集約する必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ①持続可能な県土の形成
28	原嶋委員	社会の意思決定について、公式には投票行為があるが、高齢者、若年者、個人、あるいは自治的なコミュニティ、企業、行政など、いくつかの見えない組織や団体、主体が、意思決定にどう参画できるのかということについて、従来の延長線上ではない仕組みを30年後とか50年後に向けて考えていかないと、色々なことが決まっていけないのではないかと。社会の意思決定の変革ということ 키워ワードとしてひとつ挙げたい。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3 (1) 特に留意すべき事項について ②多様な担い手との連携
29	原嶋委員	温暖化対策として、分散型エネルギーがある。身近な生活で言うと自分達が使う電気は自分達で作る、今ある大型発電に頼らないという社会が、ひとつの選択肢としてある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (1) エネルギー・環境 ⑥分散型エネルギーシステムの構築
30	原嶋委員	生物多様性については、生態系サービスを保持して、賢く利用していこうということが言われている。生態系サービスを保持するというのは単に生物を守るということではなく、食料や様々な物質を提供してくれる。丹沢や箱根、湘南などの海岸も生態系システムによって築かれている。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (1) エネルギー・環境 ②自然環境の保全
31	原嶋委員	SDGs について色々な目標がある中で、特に消費活動や生産活動を持続可能なものにしていくという、従来とは違った大きな目標が入ってきた。神奈川県を将来像を考えていく上で、大きな動きとしてとらえていく必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (3) 産業・労働 ⑤持続可能な消費と生産の促進
32	山本 (篤) 委員	神奈川県では、従来の産業に代わる新しい産業を生み出していくことに取り組んでいるが、その取り組みが、どれだけ地域に雇用を生んだのか、また、その産業がいかに地元の中小企業に波及していったのか考えていく必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (3) 産業・労働 ①成長産業の創出・育成 ②中小企業への支援
33	山本 (篤) 委員	従来の自動車や電機産業などを支えていた、下請けの中小企業をどのように再生していくのか考えていく必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (3) 産業・労働 ②中小企業への支援

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
34	山本（篤）委員	地場産業や伝統工芸産業といったもので、箱根の寄木細工や鎌倉彫、古くは横浜のスカーフなども後継者不足などにより技術が途絶える寸前になっているところもある。一方で、伝統工芸品などに若い人の入門者がいるところもある。折角、興味を持って技術を身につけたいと思う人がいる一方で、企業として成り立たない現状もあり、そこをもう一押しすることが出来ないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（3）産業・労働 ②中小企業への支援
35	山本（篤）委員	商店街を始めとした小売業やサービス業をみると、賑わっているところとかなり廃れてしまっているようなところがある。これまで商店街で買い物をしてきた人が、買い物が出来なくなるといった状況にもなってくる。そこを何とかしないと、住み続けられるまちにつながっていかなくなる。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 5（4）まちづくりの変遷 第2章 2（3）産業・労働 ④地域資源や地域の特性を生かした産業の振興や地域活性化（7）県土・まちづくり ⑤誰もが住みやすいまちづくり
36	山本（篤）委員	建設業の役割が住宅の建設から、今後は、社会インフラの維持に移っていく。空き家問題や、道路や下水道なども含め、それをどのように維持していくのか。地元の建設業者を一定程度維持していかないと、いざ地域で災害が起こったときに、どのように対応していくのかといったことも出てくる。安全や社会を維持していくという観点から、地元の建設産業をいかに育成させていくのかも含めて考えていかないといけない。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（7）県土・まちづくり ④インフラの戦略的な維持管理・更新
37	山本（佳）委員	神奈川県の場合、県外からの移動だけでなく、県内の中での移動もかなり気をつけて見ていく必要がある。また、交流人口を神奈川県の場合はこれからよく考慮していただいた方がよい。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（7）県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり
38	山本（佳）委員	人口に関する問題というのはインフラ整備、社会資本整備とかにかかわってきます。必要なところに必要とされるものを整備していくという事を考えなくてはいけない。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（7）県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり
39	山本（佳）委員	災害リスクの高いところにそのまま住み続けるのか、環境負荷が非常に高いところにそのまま住み続けるのか。これから人口減少とか高齢化といった事を考えるのならば、住むべきところも考えなおす必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（7）県土・まちづくり ⑤誰もが住みやすいまちづくり
40	山本（佳）委員	昔からサイレントマジョリティーとよく言われているが、どこにも意見を表明しない方々の社会や政治に対する要望や意向をどのように吸い上げていくのかは、課題として継続的に考えざるを得ない。	引き続き検討していきます	—
41	山本（佳）委員	近くの商店街が衰退すると、買い物をしたくてもできない方が買物難民として出てくる。解決策として、ネットスーパーや移動式商店があるが、これは仕方なく発展した買い物の形態にも見えるが、こうした状況に応じて買い物の方法が多様化したとも言える。しかし、地元にお金が落ちない。そのあたりの関係も考えていかないといけない。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（3）産業・労働 ④地域資源や地域の特性を生かした産業の振興や地域活性化
42	川崎委員	若者たちが見ている社会というのは高齢化というよりも躍動感があふれている。様々なルートをもつ人が日本経済の中で働いている。日本の社会を語るときに高齢化社会というくくりのみであることに、非常に危機感がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 1（2）誰もが活躍できる社会づくり（9）神奈川を創り、世界で活躍する あらゆる世代での人づくり
43	川崎委員	エコな商品で、しかもそれが売れていて、きちんと経済的にも利潤を生んでいるいいサイクルのものを意図的に作ることで、関心の低い人達をつなぐことができるのではないかな。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（3）産業・労働 ⑤持続可能な消費と生産の促進

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
44	北原委員	生活者にとって環境の優先度が非常に低い。そのことに対して大きな危機感を持っている。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 4 (1) 地球環境問題の深刻化
45	北原委員	市民社会セクターが、今後、行政サービスを担っていく方向に移り変わっていく中で、NPOや市民セクターで働くとなったときに、給料の面などで厳しい状況がある。そのため、優秀な人材や担い手の確保が非常に厳しい状況にある。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 5 (5) 社会課題の解決に向けて活動する企業・NPOなどの活躍
46	北原委員	女性の働き方の部分では、パートナーの理解度の差や、保育園に入れるか否かなど、今の保育園の状況では、フルタイムの大企業や行政などでなければ、柔軟な対応することが難しい。そのような状況の中で、ソーシャルセクターの担い手をどのように確保していくのが、大きな課題。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 5 (5) 社会課題の解決に向けて活動する企業・NPOなどの活躍

## 第77回計画推進評価部会における意見と県の対応

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
1	関委員	外国人留学生に対しては、言語に関する支援はもちろんのこと、生活支援などを充実させていく必要があるのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (6) 県民生活 ④多文化共生の推進
2	関委員	県は(県内の)大学をどう位置づけたいのか、どういう存在であると捉えるのかという方針がより明確になるとよいのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (3) 産業・労働 ⑥労働力人口減少と産業人材の育成
3	関委員	寿命が伸びている中で、社会や個人の意識が高齢化の進展に追いついていない現状がある。そのことを改めて認識した上で、施策を考える必要があるのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 1 (5) 長寿社会の到来
4	関委員	今の働き方のままで定年を延長しても体力面などで難しい。働き方を変えて、若いうちから長距離走型の働き方をしていかなくてはならない。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 1 (5) 長寿社会の到来
5	関委員	長距離型の働き方をするためには、生涯学習(走り続けるための学び)も重要である。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 1 (5) 長寿社会の到来
6	関委員	神奈川には、例えば週2回会議のために都内へ出勤すればあとは自宅で仕事するという働き方にも取り組みやすい地理的な利点もある。神奈川らしい働き方、ワーク・ライフ・バランスの取れた働き方はどのようなものか検討し、施策に生かしていく必要があるのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (3) 産業・労働 ⑦働き方の改革
7	村井委員	職住近接や私立高校への手厚い学費補助など子どもを持つ親にとって東京はやはり魅力的と映る。神奈川は新しい特色とか東京と一線を画した施策などを打ち出していく必要があるのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ⑤誰もが住みやすいまちづくり
8	池本委員	幼稚園をどうしていくのか県として検討すべきではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (5) 教育・子育て ④子育て環境の充実
9	池本委員	幼稚園と保育園が分かれている制度は世界的に見ても特殊であり、制度改革なども含めて検討すべきではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (5) 教育・子育て ④子育て環境の充実
10	池本委員	AIやICTの発達で暗記が無意味となったり、職業にも大きな変化が起こると考えられる。それに適応した学校教育を実施していく必要があるのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (5) 教育・子育て ①一人ひとりの生きる力を高める教育

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
11	池本委員	教育居住やオルタナティブ教育（主流または伝統とは異なる教授・学習方法）などの新しい教育が出てくるのではないかな。	引き続き検討していきます	—
12	池本委員	ICTの発達で教育を受ける場所の制約も低くなってくると考えた場合、より環境の良い場所に移住するという事も考えられ、神奈川の優位性は低くなっていくのではないかな。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（7）県土・まちづくり ⑤誰もが住みやすいまちづくり
13	池本委員	高齢者の施策と子どもの施策が分離されているが、両者が関わることの相乗効果もあり、高齢者を含めた教育の在り方を検討すべきではないかな。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（5）教育・子育て ④子育て環境の充実
14	池本委員	情報格差をどう解消するか、分かりやすい情報を必要な人にいかに届けるかということ、行政はもっと検討すべきではないかな。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 2（2）情報通信ネットワークの高度化
15	池本委員	保育士の研修制度を国レベルで制度化する必要があるのではないかな。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（5）教育・子育て ④子育て環境の充実
16	池本委員	研修や保育、教育に関する情報を一元的に管理する情報サイトを国レベルで整備するなど、保育士等への情報提供の方法を検討すべきではないかな。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（5）教育・子育て ④子育て環境の充実
17	池本委員	全ての子供に教育を届けるとか、子どもの意向を反映して学校運営をすとか、教育における子どもの権利ということをもっと意識して施策を検討、実施すべきではないかな。	引き続き検討していきます	—
18	木曾委員	看護師や介護福祉士、オリンピック・パラリンピックに伴う建設労働者など、外国人労働者が増えている。労働環境の整備、労働条件の公平化ということに取り組みながらも、外国人労働者への依存が、これからも様々な分野で検討される可能性がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（3）産業・労働 ⑥労働力人口減少と産業人材の育成
19	木曾委員	訪日外国人旅行者も急増している。プラスの面とともに今後は、自然災害時や、あるいは、異文化ギャップによるトラブルの発生、これを回避すること等々、さまざまな課題への対応の必要性がますます高まるのではないかな。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（2）安全・安心 ①大規模な災害等への対応の強化（6）県民生活 ④多文化共生の推進
20	木曾委員	外国人労働者、留学生は定住者となる可能性もある。彼らをどう受け止めるのか、どのような日本社会のあり方を望み、どのような施策をとるのが長期的な課題である。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（6）県民生活 ④多文化共生の推進
21	木曾委員	外国人労働者、留学生を経済への貢献という側面から注目するだけでなく、労働者、生活者、そして隣人としての外国人との共生のあり方、その可能性の追求という側面からも検討する必要があるのではないかな。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（6）県民生活 ④多文化共生の推進
22	木曾委員	企業のCSRが海外に向けて発揮されることでの国際貢献という考え方もある。行政が企業の海外向けCSRを支援するという可能性も検討すべきではないかな。企業は責任を果たし、その評価を高める。県は、国際貢献、（海外向けCSRを検討している）企業の誘致という、2つの側面で効果が期待できる。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 1（11）日本経済を牽引し、世界に貢献する神奈川づくり 第2章 2（3）産業・労働 ⑤持続可能な消費と生産の促進
23	木曾委員	フェアトレードへの取り組みは、世界の中でも、日本、また神奈川県に対する一つの大切な評価を生むだろうし、国際支援にもつながるのではないかな。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 1（11）日本経済を牽引し、世界に貢献する神奈川づくり 第2章 2（3）産業・労働 ⑤持続可能な消費と生産の促進
24	木曾委員	外国人の流入が増える中で、外国語を母語とする子どもたちの支援も、当然、視野に入れる必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（5）教育・子育て ②ともに生きる社会の実現に向けた教育

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
25	木曾委員	偏見や思い込みを排して柔軟な心を持つ多文化共生社会の住民、また、海外に飛び出して行ける、海外でも活躍できる人材、そういう子どもたちを育成するために、学校教育の中でどのような取組みが可能なのか検討していく必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (5) 教育・子育て ①一人ひとりの生きる力を高める教育 ②ともに生きる社会の実現に向けた教育
26	小池委員	高齢者による子育て支援なども可能である。給与のためにあくせく働くのではなく、ゆったりとした仕事の仕方であったり、ボランティアを含めて社会参画できる機会を増やしていくことが重要なのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (5) 教育・子育て ④子育て環境の充実 (6) 県民生活 ③高齢者の社会参加活動の推進
27	小池委員	高齢者になればなるほど経済的な格差が強くなっていく。それは健康の格差や介護の格差、住まい方の格差につながっていく。この格差をどこまでどのように解消するのかということは、本当に考えていかなくてはならない。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 5 (1) 格差の拡大と固定化の懸念 第2章 2 (4) 健康・福祉 ②誰もが未病を改善し健康に生活できる環境の整備
28	小池委員	社会とのつながりが切れてしまった独居の高齢者の方達はやはり健康を崩していく。社会とのつながり、社会で支える仕組み、地域で暮らし方を支えていく仕組みづくりをしっかりと行っていくことが必要ではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 5 (3) 社会的孤立の状況 第2章 2 (4) 健康・福祉 ②誰もが未病を改善し健康に生活できる環境の整備
29	小池委員	科学技術の発達に伴う新しい仕事の創出に対応できるよう、子どもたちだけでなく、ミドルの方も、初老の方も含めて、学び続けて何らかの形で社会に仕事として関わって行ける、学び直しを繰り返してできるような仕組みが作られるとよいのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (6) 県民生活 ③高齢者の社会参加活動の推進
30	小池委員	AIなどが発達してもケアやナーシングなどはなくなるとは思われない。北欧では社会的なケアのニーズに対して訓練をする公的な機関があるので、何度でもそのような場所で学び直すことができる、そして仕事に従事できるというような仕組みもあわせて作られていくとよいのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (4) 健康・福祉 ④保険・医療・福祉人材の育成・確保
31	朱委員	独居老人は今後ますます増加すると考えられる。彼らの老後をどう支えるか、どう社会と接点を持たせていくのか、介護制度や様々なシステムももっと工夫できる余地があるのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (4) 健康・福祉 ③地域医療体制及び地域包括ケアの推進
32	朱委員	観光客が来ることによる日本経済のプラス面は非常に大きいと思うが、文化的、言語的摩擦からくるコミュニケーション不足による対立もある。そういった人々を排除するのではなく、どうにかうまく収めて受け入れていくという方法を考えていくことが必要なのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (6) 県民生活 ④多文化共生の推進
33	朱委員	(外国人の) 相手のいいところを見出し、お互いに理解を深めることが重要である。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (6) 県民生活 ④多文化共生の推進
34	朱委員	外国人定住者が増えると、異文化をダブルでもつ人々も増えていくと思う。そういった人々が増えることは、多文化共生社会において大変いいことだと思う。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (6) 県民生活 ④多文化共生の推進
35	中西委員	現状の日本を認識するためにも、世界に目を向けた国際化というものは大切だと感じる。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (6) 県民生活 ④多文化共生の推進
36	中西委員	総量が十分であってもサービスが届かないという空間的なマッチングが難しい状態が生まれている。総量自体を維持することも困難である中で、どうやって空間的偏在を解決していくかが非常に重要な課題なのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
37	中西委員	今後はメリハリをつけたハード整備、メリハリをつけたサービス配置をせざるを得なくなる。その課題の実現を総合計画レベルの大きな方針としてうたっていく必要があるのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 1 (10) 人口減少社会への適応 第2章 2 (7) 県土・まちづくり ①持続可能な県土の形成
38	中西委員	行政は、別部門とされていた領域としっかり連携しながら地域経済、医療、福祉、教育の需要と必要性を支える形で空間整備を行っていかねばいけない。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり
39	中西委員	地方分権が進み過ぎて、逆に弊害が生じているところもある。行政内部の部門別の連携や県と市町村の関係も、人口減少社会を見据え、考え直す必要があるのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3 (2) 国・県・市町村の関係について ①県と基礎自治体との関係
40	中西委員	学校再編をする際には教育の質の維持という側面にも着目し、空間的な偏在が教育の格差につながらないようにすべきである。地域の差をきちんと分析し、全体を通して一定の質向上が図られるよう進めるべきではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり
41	中西委員	教育の質の良いところには若い世代が集まるというデータもあり、人口減少の時代に対して対処の方法の手段として教育をきちんと捉えるということも大事だと考える。その観点から、教育に力を入れていくことの意義付けをすることが必要なのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ⑤誰もが住みやすいまちづくり
42	中西委員	都市構造を考える際には、防災についても注意を払う必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり
43	原委員	女性の社会参画はこの20年で増えたのと思うが、生産性を上げる、女性が働ける環境をより支援していく必要があるのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (6) 県民生活 ②男女共同参画の推進
44	原委員	人口減少社会の中においては、今の社会システムを維持しようということも大切だが、行政を含めたシステム自体を人口減少を前提に設計していかなくてはならないのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 1 (10) 人口減少社会への適応
45	原委員	使っていない公共空間を活用した魅力づくり、稼ぐ地域づくりということも検討したほうがいいのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり ③自然・歴史・文化と調和した県土づくり
46	原委員	市町村に対し、PPP（民間委託など官民のパートナーシップ）に関するノウハウの支援などを行っていくことが大切なのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3 (1) 特に留意すべき事項について ②多様な担い手との連携
47	原嶋委員	今までは社会全体で「長生きすることは良いことだ」という認識があったが、老後破産などが話題になる中で、そのような認識もこれからは変わっていくのではないか。	引き続き検討していきます	—
48	原嶋委員	社会全体のリソースが、子どものいる家庭や女性に十分配分されていないことが問題である。極端なことを言うと、それを解決するくらいの極端な特権を子どものいる家庭や女性に与えないと、今のシニアと若い人の格差や子どもがいる人といない人の格差は解決していかないのではないか。	引き続き検討していきます	—
49	原嶋委員	今の社会の仕組みの意思決定がぎくしゃくしてスムーズにいかないという印象がある。まちづくりを決める意思決定の仕組みをどう変えるかが重要ではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3 (1) 特に留意すべき事項について ②多様な担い手との連携
50	原嶋委員	人口減少社会において、県土全体を均等に発展させるという考え方にこだわる必要があるかどうかは十分に議論する必要があるのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
51	山本（篤）委員	インフラの維持管理などを考えると、地域の建設業の振興も重要になってくるのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（7）県土・まちづくり ④インフラの戦略的な維持管理・更新
52	山本（佳）委員	経済的な要因からの教育格差の問題が顕在化してきていることが非常に気付きである。学校独自の奨学金などもあるが、行政的な観点からも、学習意欲のある学生をいかにバックアップしていくかを検討すべきではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（5）教育・子育て ⑦子どもの貧困対策
53	山本（佳）委員	外国人定住者が高齢化していくことによる問題（医療や福祉サービスの提供はきちんとされるのか等）も大きな課題として検討しなければならないのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（6）県民生活 ④多文化共生の推進
54	山本（佳）委員	若いうちから異文化に触れると、異文化に対して自分たちからも理解しようという気持ちを持てるようになるということもある。異文化に密に触れる経験を若い人たちができるといいのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（6）県民生活 ④多文化共生の推進
55	山本（佳）委員	貧困など困難を抱える子どもたちに対してもっと留意しながら施策を検討すべきではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（5）教育・子育て ⑦子どもの貧困対策
56	川崎委員	神奈川はインターナショナルスクールも多いし、小さい頃から多文化を感じられる環境にあると思う。そういう魅力をもっと意識した施策を検討してもよいのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（5）教育・子育て ②ともに生きる社会の実現に向けた教育

## 第78回計画推進評価部会における意見と県の対応

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
1	伊達委員	人口減少を補って余るぐらいの技術革新が今日ある中で、県はどれくらい積極的に取り入れていくのか検討すべきではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3（1）特に留意すべき事項について ③柔軟な発想による政策展開
2	伊達委員	人口減少などネガティブなことに捉われすぎず、技術革新などポジティブなところに積極的にチャレンジして、神奈川で成功事例をつくっていくことが重要なのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3（1）特に留意すべき事項について ③柔軟な発想による政策展開
3	山本（佳）委員	神奈川の多様性に富んだ地域の魅力を最大限に生かし、それを武器にするような施策を検討する必要がある。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（7）県土・まちづくり ③自然・歴史・文化と調和した県土づくり

## 第79回計画推進評価部会における意見と県の対応

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
1	牛山部会長	施策全体を推進するうえで、県の行政体制をどのようにするかという問題は、県民との協働連携などと合わせて内容を整理した方がよいのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3（1）特に留意すべき事項について ②多様な担い手との連携
2	牛山部会長	実際の人の行き来など、広域行政という側面からではない県内の異なる地域間での連携について追記したほうがよいのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（7）県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり
3	内田委員	産業振興やイノベーションの視点が不十分ではないかと。ベンチャーを活性化する視点が欲しい。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（3）産業・労働 ⑥労働力人口減少と産業人材の育成
4	村井委員	子どもや若者からの視点、また、教育という側面からの記載が足りないのではないかと。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2（5）教育・子育て ①一人ひとりの生きる力を高める教育

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
5	池本委員	基本点な視点7の安全・安心な社会づくりに「外国人や高齢者、子育て世代にやさしいまち」とあるが、この部分は、もっと高次元の1か2のキーワードではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 1 (1) ともに生きる社会の実現 (2) 誰もが活躍できる社会づくり
6	池本委員	「子育て世代にやさしいまち」より、海外で言われている「子どもにやさしいまち」を目指して欲しい。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ⑤誰もが住みやすいまちづくり
7	池本委員	強調すべきテーマ (ダイバーシティ) どのような立場の人も排除されず、不快な思いをせず活躍できる環境を目指して欲しい。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (6) 県民生活 ④多文化共生の推進
8	池本委員	強調すべきテーマ (情報提供の在り方) ICT技術を生かして市民の生活をどう改善するのか検討が必要である。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3 (1) 特に留意すべき事項について ③柔軟な発想による政策展開
9	池本委員	強調すべきテーマ (市民の参画) 市民が一方的に行政サービスを受けるのではなく、市民と行政がともに行政サービスを作り改善していくことができないかと感じる。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3 (1) 特に留意すべき事項について ②多様な担い手との連携
10	池本委員	強調すべきテーマ (財源の制約) 財源に制約があることを明記すべきではないかと思う。公的投資の効果最大化を目指すなどということに言及して欲しい。	引き続き検討していきます	—
11	木曾委員	SDGsの目標17でグローバル・パートナーシップを活性化するという記載があり、そのような視点をもう少し基本的な視点(案)に反映するとよいのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 1 (11) 日本経済を牽引し、世界に貢献する神奈川づくり
12	小池委員	世界に繋がることで広がるリスク(テロや感染症など)についても検討すべきではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第1章 4 (3) 自然の脅威の再認識
13	小池委員	一人一人がそれぞれの幸福感を追求できるような社会を目指すという視点があってもよいのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 1 (2) 誰もが活躍できる社会づくり
14	小池委員	基本的な視点の3「格差の拡大と固定化への対応」の趣旨から、栄養状態なども含めた総合的な支援が必要であるという視点が重要である。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (5) 教育・子育て ⑦子どもの貧困対策
15	朱委員	基本的な視点の2「誰もが活躍できる社会づくり」には外国にルーツのある人に関する記載を追記すべきではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 1 (2) 誰もが活躍できる社会づくり
16	杉田委員	エネルギー政策の転換については、GDの第1番目に挙げているので、これまでどう取り組んできたかを明らかにすべきではないか。また、これまでが不十分であれば、今後具体的にどのような政策を進めるのか明示すべきではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (1) エネルギー・環境 ⑥分散型エネルギーシステムの構築
17	杉田委員	分散型エネルギーシステムの構築、再生可能エネルギーの導入促進については、実際にそのような施策を行う用意があるのか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (1) エネルギー・環境 ⑥分散型エネルギーシステムの構築
18	中西委員	都市インフラの話を含めて、もう少し空間的なものに関する記載があるとよいのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり
19	中西委員	県全体を一括りにとらえてしまっている。地域ごとに違いが出てくることにも触れるべきではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
20	中西委員	地域商業の話があまりなく、地域経済という視点を入れるべきではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (7) 県土・まちづくり ②地域の特性を生かした多面的ニーズに応える都市づくり
21	中西委員	働き方の多様化を考える際には、働く場所の多様化も合わせて検討すべきではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (3) 産業・労働 ⑦働き方の改革
22	原委員	新エネルギーの記載はあるが、省エネにもフォーカスするべきではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (1) エネルギー・環境 ⑥分散型エネルギーシステムの構築
23	原委員	神奈川は生活環境が快適でありながら、環境にもローインパクトな地域であることを示すことができるとよい。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 1 (8) 持続可能な社会を実現する環境との共生
24	原嶋委員	基本的な視点のナンバーが優先順位を表しているのであれば、人口減少社会への対応の順位が低いと感じる。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点
25	川崎委員	公平や公正といった視点からの表現があったほうがよいのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 1 (2) 誰もが活躍できる社会づくり
26	北原委員	子育てへのポジティブな表現を盛り込むべきではないか。	引き続き検討していきます	—

## 第121回総合計画審議会における意見と県の対応

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
1	斎藤副会長	最近よく聞かれるようになった「LGBT」の方々への配慮について、記載した方がよいのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (6) 県民生活 ①ともに生きる社会の実現
2	柏木委員	働き方改革に関する国の政策が様々ある中で、県としてどのようにそれを取り入れていこうというのか検討すべきではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (3) 産業・労働 ⑦働き方の改革
3	柏木委員	オリンピック・パラリンピックを機会とする県民のスポーツ意識の高まりを、どのように後世へ残していくのか検討すべきではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (4) 健康・福祉 ②誰もが未病を改善し健康に生活できる環境の整備
4	柏木委員	行政手続きにもっとICTを取り入れ、県民の利益に沿うようなものにしていく必要があるのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3 (1) 特に留意すべき事項について ③柔軟な発想による政策展開
5	柏木委員	神奈川に雇用を創出して、神奈川に住んで、神奈川で働けるという環境を目指すことがとても大切なのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 2 (3) 産業・労働 ①成長産業の創出・育成
6	柏木委員	各局の施策をバラバラに取り組んでも効果が薄いので、県としてあるべき姿を定め、それに向かって包括的に対応していくことが必要なのではないか。	ご意見の主旨を反映させました	第2章 3 (1) 特に留意すべき事項について ①総合的な視点に立った対応